

学校紹介

沖縄県立中部農林高等学校(全日制課程)

所在地 〒904-2213

沖縄県うるま市字田場 1570 番地

電話 (098)973-3578・7718

F A X (098)973-3357

交通機関 知花線(90 番) 中農農場前下車

名護東線(21 番)

具志川線(23 番) 屋慶名線(27 番) 中農前下車 5 分

1. 学校の概要

本校は昭和 21 年 1 月 10 日、沖縄文教学校農学部として具志川村字田場の門原に創設され、同年 4 月 1 日、八・四制学制施行により文教学校より独立し、中部農林高等学校として創立する。平成 12 年度に大幅な学科改編を行い、福祉科などユニークな学科を新設した。現在では、県内でもトップの入学志願倍率を誇り、進路決定率でも県内上位に位置している。

2. 設置学科及び募集定員等

課程	学 科	平成 27 年度	入学定員倍率		備 考
		募集定員 (学級数)	平成26年度	平成25年度	
全日制	熱帯資源科	40(1)	1. 50	1. 45	全学科で推薦入試を実施 (募集定員の30%程度)
	園芸科学科	40(1)	1. 59	1. 31	
	食品科学科	40(1)	1. 63	1. 43	
	造園科	40(1)	1. 60	1. 20	
	福祉科	40(1)	1. 15	1. 00	

3. 教育目標・教育方針

憲法及び教育基本法に則り、人間性豊かで 21 世紀を担うことのできる人材を育成するため次の目標を定める。

1. 自然と生命を愛し、平和を希求する人間を育成する。
2. 豊かな情操と創造性・協調性のある人間を育成する。
3. 農業従事者の育成及び農村・地域社会のリーダーを育成する。
4. 社会福祉に貢献できる人材を育成する。
5. 勤労を重んじ自主的に行動できる人間を育成する。
6. 国際化、近代化に対応できる人間を育成する。

(1) 熱帯資源科

熱帯の有用な資源作物の基礎的な生産技術及び愛玩動物の飼養管理に関する知識・技術を学び、実践力を備えた創造性豊かな産業技術者を育成する。

(2) 園芸科学科

園芸作物の栽培と利用を通し、施設の利用や生活空間の創造及び農業経営に関する知識と技術を学び、先端技術を活用できる農業経営者、農業にかかわる業務に従事する技術者を育成する。

(3) 食品科学科

農畜産物の加工・貯蔵、品質管理及び調理や食品衛生に関する知識と技術を習得させ、食品関連産業に従事できる能力と態度を育成する。

(4) 造園科

造園植物の栽培管理及び造園の設計・施工管理に関する知識と技術を習得させ、造園及び関連技術者としての必要な能力と態度を育成する。

(5) 福祉科

福祉に関する基礎的知識と基本的技能を修得させ、高齢社会に対応できる人材を育てるとともに、それらに関わる福祉関連業務に従事する資質と能力を養成する。

4. 特色ある教育活動

(1) 学習指導

- ① 分かる授業・参加する授業を目指して学習内容等を工夫し、視聴覚教材の活用、プロジェクト学習、資格取得、名園見学、現場実習、民活導入による実務学習、学習発表会等を推進しています。
- ② 進学及び職業選択の幅を広げ、人間性豊かで21世紀を担う人材の育成を図るため、生徒の興味関心に対応して、進学系や教養系をはじめ各学科の系列など多くの選択系列を設置しています。

(2) 進路指導

小論文対策講座や受験対策講座、英語検定講座などを開設し大学や短期大学・専門学校への進学を目指しています。また、危険物取扱者(丙種、乙種)、小型移動式クレーン、2・3級造園技能士、玉掛、車両系建設機械運転技能士、ガス・アーク溶接作業士、2・3級園芸装飾士、漢字能力検定等、資格取得のための講座を開設し、就職につながる資格取得に向けて、頑張っています。生徒の興味・関心・適性・進路等に応じた指導の進路充実と強化に努めています。

5. 教育課程の特色

- (1) 2学年より他学科の学習系列を選択でき、幅広い専門科目が履修できます。
- (2) 「進学系」の学習系列を選択することにより、集中した受験対策ができます。
- (3) 「情報系」の学習系列を選択することにより、急速に進展する情報化社会に対応できます。

6. 生徒会・部活動

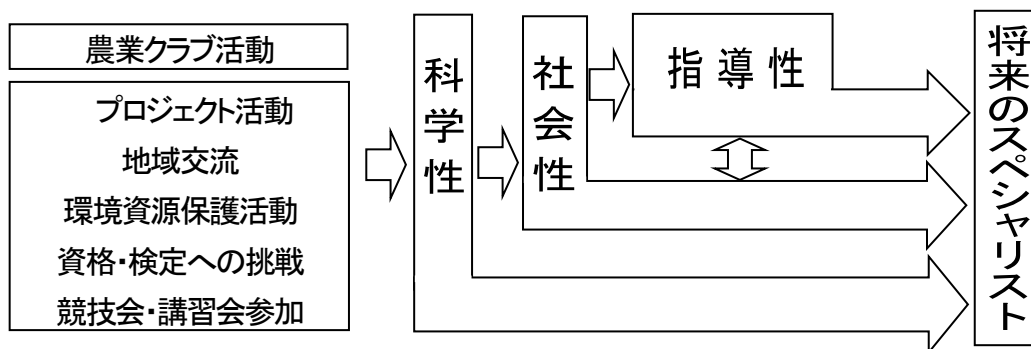
部活動面では、体育系の部活12団体、文化系の部活14団体、7団体の同好会が本校で活動し、その活性化を図っています。体育系では相撲部が常に県大会で上位の成績をあげ、県総体10連覇や個人戦優勝など、輝かしい実績を残しています。その他、野球部、サッカー部、女子ソフトボール部、男女バスケット部、女子バレー部、女子バドミントン部、陸上部、空手部などが活発に活動しています。文化系においては吹奏楽部や写真部が県内でも優秀な成績を残しています。その他、動物介在チームや園芸部、バイオ研究部、加工部、ボランティア部、郷土芸能、放送部、軽音楽部、イラスト部などがあり、活発に活動しています。

7. 進路状況

県内国公立・私立大学や県立農業大学校などへの進学を目指し、生徒たちは各種対策講座等で頑張っています。また、他学科の専門科目を系統的に学習できる学習系列選択制により、資格取得に励み、職業選択の自由度が広がっています。卒業生も農業・環境・福祉系の多様な分野で活躍しています。

8. 農業クラブ

農業クラブとは、農業を学ぶ高校生が、交流、研究、発表し、自主的・主体的に農業学習を進めるための組織です。日頃の農業の学習とつながりをもって進められ、研究したり発表したり交流するなどの活動があります。農業クラブ活動を通して自発的・積極的に農業に関する学習を行い、実践的能力と態度を養い、農業クラブの三大目標である科学性・社会性・指導性を身につけることを目指しています。



本校における農業クラブの活動は活発で、地域特産物を活用した商品開発や、環境資源保護、動物介在活動を通しての地域交流などのプロジェクト活動に取り組んでいます。

9. 校長からの一言

沖縄県立中部農林高等学校は沖縄本島の中部(うるま市)にあります。本地域は菊の電照栽培や畜産(養豚、繁殖牛、闘牛)の盛んな地域として知られています。

本校は昭和21年に旧具志川村字田場に設立され、幾多の変遷を経て地域の実態や時代の変化に対応した学校づくりが進められてまいりました。現在、全日制課程に熱帯資源科、園芸科学科、食品科学科、造園科、福祉科の5学科、定時制課程に農業科が設置され、さらに、進学系、福祉系など多様な系列を設けて特色ある教科指導や職業資格取指導に力を入れるなど生徒の進路に対応した教育が実践されています。また、平成22年度より沖縄高等特別支援学校の分教室が設置され、本校生徒と分教室生徒が合同で各種実習や諸行事を行っています。

本校の教育のモットーは農業教育・福祉教育をとおして「わかる」「できる」という人材を育成することと、他者を労り励ましあう心を育成することです。

生徒の特別活動も活発で、野生ランの保護活動や農産加工品の商品開発(オクラ麺、パッションジャム等)、動物介在活動、福祉ボランティア活動など教科や農業クラブ活動等をとおして、地域と密接に関わり、地域から高い評価を得ています。学習の成果として、農業高校の甲子園といわれる日 本学校農業クラブ全国大会で優秀賞(プロジェクト発表、農業情報処理競技、農業鑑定競技)を受賞しています。また、スポーツ面でも相撲部の全国的な活躍や女子タグラグビーの活躍などが光っています。

以上のように、本校は特色ある教育課程を展開し、多くの体験活動をとおして豊かな情操と心身共に健全な人間づくりを推進しています。また、毎月、中農市を開催したり地域の行事に積極的に参加するなど、関係機関と連携して地域に開かれた教育活動を展開しています。

このホームページで多くの学校情報を発信しますので、御支援下さいますようお願い致します。